

1 学校教育目標

学校教育目標
主体的に学び、健やかな心と体を育む 「えがおいっぱいの子ども」の育成

【めざす児童像】「えがおいっぱいあくのうらっ子」
㊦ あったかでやさしい子
㊧ くふうしながら主体的に学ぶ子
㊨ のびのびとした元気な子
㊩ うつくしい心を育む子
㊪ らんらんと輝く目でチャレンジする子

【めざす学校像「幸せいっぱい笑顔の学校」】

- 自己実現ができる学校〔児童〕
- 働きがいのある学校〔職員〕
- 信頼される学校〔保護者・地域の方〕
- 協働できる学校〔職員・保護者・地域の方〕

【めざす職員像「子どもと共に伸びていく職員」】

- 子どもへ愛情を注ぎ、よりよく成長させる職員
- 使命感と誇りをもち、指導力の向上を続ける職員
- 同僚、保護者、地域の方と協働し、人間力を高める職員
- 高い倫理観をもち、同僚、保護者、地域に信頼される職員

2 重点経営方針

- (1) 小規模校の強み・良さを生かした教育を推進し、学校教育目標及びめざす児童像の実現を図る。
- (2) 職員同士の学び合いを大切にし、自己の資産・能力の向上を図り、組織としての力を高める。
- (3) 学校を開き、子どものために家庭や地域と協働し、信頼される魅力ある学校づくりを推進する。

3 具体的な方針

- (1) 「ほめる文化」の醸成
「ほめる」ことは、成果、努力を認めること。成長の芽を育てるために、適切な言葉とタイミングで大いにほめる。
- (2) 学級経営の充実
自己肯定感を高めるために、一人一人を大切にし、「主体性」と「創造性」を磨かせる学級経営を推進する。
- (3) 縦割り活動の重視
縦割り活動の充実を図り、学級を超えた関わりの中で子どもたちを大きく成長させる。
- (4) 目的を明確化した授業改善
身につけさせたい力を明確にし、向上させるための手立てを講じ、日々の授業において改善を図る。
- (5) 対話する子ども、対話する職員
対話は人間関係を構築する基本ととらえ、相互理解によって人と人とのつながりを深めることを大切にする。

(6) 指導する言葉を自らに課す教職員

私たちの言葉が、表情が、行動が、構えが、子どもにとっての「模範」といえるか、自らに問い質す心構えをもつ。

(7) 全職員で全児童を

全職員で全児童を育むという意識をもち、情報を共有しながら、温かみのある指導・支援を充実させる。

(8) 支え合うチーム飽満

お互いの頑張りを認め合い、感謝し合える職員集団として、個々の負担感を軽減し、支え合える「チーム飽満」を目指す。